

平成28年度 施策評価シート

基本目標	区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政策	510 コミュニティの輪が広がるやさしいまちをつくる
施策	513 外国人にとっても、暮らしやすい地域社会をつくる
施策の目標	国籍や人種の違いを超えて、さまざまな外国人と地域が共生し、地域の諸問題の解決にも積極的に取り組むなど、外国人にとっても暮らしやすいまちになっています。

1 基本計画における成果指標

指標名	単位	目標値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
「区内で生活する外国人と交流する機会があった」区民の割合	%	17.0	16.1	-	-	-	11.5

2 1の「成果指標」以外に施策の進捗状況を示す指標

指標名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
墨田区外国人住民数	人	9,558	9,213	9,309	9,865	10,673
墨田区国際化推進クラブ活動数	回	16	14	10	9	10

3 目標と現状(実績)についての分析

<p>指標の推移・施策の課題や問題点について記述</p> <p>・入国管理法の改正(平成24年7月)により、一時、住民基本台帳上の外国人住民数は減少したが、区の人口増に伴い、平成28年6月現在では区民の約4%に当たる1万人を超えている状況である。今後も外国人支援のニーズが一層高まると推測される。</p> <p>・「墨田区国際化推進クラブ」の活動については、日本語ボランティア養成講座を実施し、講座修了生は区内の日本語ボランティアで活動している。</p>

4 今後の施策の運営方針

<p>施策の戦略的方向性(選択肢に を付ける)</p> <p>(1) 優先的に資源投入を図る。</p> <p>(2) 現状維持とする。</p> <p><input type="radio"/> (3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。</p> <p>(4) 資源投入の縮小を図る。</p>
<p>【上記の判断理由】</p> <p>多文化共生施策を实践できるボランティア人材の更なる確保を図るとともに、常に外国人住民のニーズを把握し、的確な支援策をより効率的に実施していく必要がある。</p>
<p>【今後の具体的な方針】</p> <p>引き続き、「墨田区国際化推進クラブ」との協働事業の改善を図るとともに、同クラブの組織体制の強化に向けた側面的な支援を行う。併せて、日本語ボランティア教室をはじめとする区内外国人支援ボランティア・団体との連携を深め、多文化共生社会の実現に向けた各種支援の充実を図っていく。</p>

事務事業名	国際化推進事業		所管課・係	文化振興課 文化・国際担当
施策	513	外国人にとっても、暮らしやすい地域社会をつくる	連絡先	5608-6212
予算書名称	国際化推進費		執行実績報告書ページ	59

1 事業の概要

平成17年度までは、様々な国の文化を体験し視野を広げることなどを目的とする「国際交流」が主に行われてきた。現在は、国籍や文化などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域住民として共に生きていくという「多文化共生」という概念を念頭に施策を実施している。	事業開始年度	平成4年度
	終了予定年度	未定

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか							
墨田区在住の外国籍または母国が外国の方					に対して		
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)							
区と区内の国際化推進団体が協働し、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくという「多文化共生」社会の実現に向けた様々な事業					を実施したことで		
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか							
墨田区民として安心して生活することができる					状態にする。		
目的を達成するための指標							
種類	指標名(指標の説明)		単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	墨田区外国人住民数		人	目標値	9,300	9,500	10,000
				実績値	9,309	9,865	10,673
成果指標 (目的に対する指標)	墨田区国際化推進クラブ活動数		回数	目標値	15	15	15
				実績値	10	9	10
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)							
経済のグローバル化に伴う留学生や技能実習生の来日、少子高齢化に伴う労働人口減少の補完、海外から家族を呼ぶなどを要因として、外国人住民数が増加していることから、今後も、区事業に関わる通訳翻訳業務や日本語教育への需要が高まると予想される。このため、引き続き、区内の各国際化推進団体と協働し、効率的かつ多くの在住外国人が恩恵を受けられる施策を展開する。とりわけ、国際化推進ボランティア及び日本語ボランティアの育成を推進する必要がある。							

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) *歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	区民生活費	項	文化振興費	目	国際交流等推進費	
27年度 歳出予算額	1,014	27年度 歳出決算額	524	27年度 執行率	51.7%	28年度 歳出 予算額	1,006
27財源内訳 (決算額)	国庫支出金 無	都支出金 無	その他 無	一般財源 有			
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称				収入額	
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの		墨田区国際化推進団体補助金					
27年度 実績額	300	28年度 予算額	627	対象	墨田区国際化推進クラブ		
開始 年度	平成19年度	根拠法令	墨田区国際化推進団体補助金交付事務要領				
算定基準	単年度補助			補助率	1年度につき予算の範囲内において30万円		

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	高い	前年度評価	高い
外国人住民数が年々増加しており、彼らが安心して生活できるよう、支援が一層必要となるため。				
(2)事業の有効性	評価結果	どちらかといえば有効	前年度評価	どちらかといえば有効
区HPのリニューアルに伴い、日本語ボランティア教室の一覧などをダウンロードできるようにした。また、26年度に設置した多言語情報コーナー(区庁舎1階)は、多くの外国人が利用している。				
(3)事業の効率性	評価結果	どちらかといえば効率的	前年度評価	どちらかといえば効率的
区から発信する情報の多くは、多言語に対応していないため、更なる改善を図る必要がある。				
(4)現状と課題	在住外国人の増加及び多国籍化に伴い、通訳翻訳ボランティア及び日本語ボランティア教室の需要が高まっている一方で、ボランティアが不足しつつあるため、更なるボランティアの育成・確保が重要かつ喫緊の課題である。			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	改善・見直し	判定理由	在住外国人が年々増加していることから、各事業について更に工夫・改善を図りながら、必要な支援を充実させていかななくてはならないため。
今後の方向性(見直しの視点)	「墨田区国際化推進クラブ」をはじめとする区内の国際化推進団体との連携を深め、多文化共生に向けた支援の充実を図っていく。 また、様々な分野で外国人のニーズが高まっているため、全庁的に取り組む必要がある。		
平成27年度区議会の質問状況	時期	無	
	要旨	無	